

まち・ひと・しごと創生 総合戦略
第2期（令和6年度事業分）
主要プロジェクト

<<外部検証>>

（ 評価 及び 意見 ）

令和7年3月

外部検証（評価）

No	プロジェクト名	評価
1	いいでの子大したもんだプロジェクト	A
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	B
3	町民総主役化プロジェクト	C
4	いいで田園ルネサンス	C
5	子育て世帯への総合的支援	B
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	B
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	B
8	結婚の希望の後押し支援	B
9	移住・定住、田園回帰の加速化	B
10	豊かで柔軟な住環境整備	B
11	新たなツーリズムの創造	A
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	A
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	B
14	域内循環社会の構築	B
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	A
16	「日本で最も美しい村」づくり	A
17	スマートカントリー構想の実現	B
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	B
19	こだわりの産業を創る商工業基盤の強化	A
20	バイオマス産業都市構想の推進	C

外部検証（意見）

- ✓ そもそも、この検証は町計画に掲げられているプロジェクトを検証するものです。計画には目標があり、その目標の達成度が外部、素人(ひいては一般町民)からもわかるように「数値目標」が定められたはずで、いくら良い行いでも、その行動がその計画から外れた内容であれば、「目標達成」とはならないと思いますし、「計画に無い行動」であれば、むしろ修正すべき事のように思います。今回「自己評価」「内部評価」を見るに、多くが「A」と「B」判定です。「D」はありません。これは内部事情がわかるからこそ、経常業務を優先的に実施した事へ配慮したもので無いでしょうか。もし、計画に記載していない事業で評価をするとすると、なんのための計画なのかとなります。本当に、その業務で評価するべきならば、その「経常業務」を計画に掲げ、外部からも評価されるような数値目標を掲げるべきです。「計画には上げていない内容であったが、がんばったからB判定にする。」このようなやり方では、なんのために計画を策定し、目標を立てているのかわかりません。目標値に到達できず、CやD判定になる業務こそ、「計画がまずかったのでは無いか」、「目標値の立て方が違ったのでは無いか」となり、中間年を経過するときに「変更計画」のポイントとなるものと思います。全て(ほとんど)がAかBでは本来の計画の意義が無くなります。令和6年度は中間目標年である令和7年度の1年を残すのみです。よって、原則的には累計目標値の8割達成していなければ合格とは言えないでしょう。冷たいようですが、それが「計画」「目標」「数値指標」であり、それを客観的に評価しなければ、町民に対しても説明できないと思います。その意味では、自己判定、内部評価においてB判定とした部署においては、再度、「計画とはなんなのか」、「日常業務における計画の位置付け」を再確認していただければと思います。計画が町民の総意であり、その方向に進めないのであれば、早めに計画の内容や目標、数値指標を変更すべきだと思います。中間目標年を迎えるにあたり、改めて数値目標をどのように設定するか的重要性を感じます。5年、10年の計画の経過指標(目標)に1や2となるものは相応しくないのかもしれませんが、「1」となると初年度で実行すれば、それ以降は「目標達成」となりますし、4年間「0」であっても「最後の年にやるつもりです」と言われると進行管理ができません。計画の目標は抽象的な一つの現象でもよいと思いますが、進行管理の目安となる指標には、毎年の努力の成果が現れるものに設定していただきたいと感じました。また、飯豊町のような規模の小さな自治体において、首長の公約はいわば、基本計画のようなものです。首長が交替したのなら、根幹的な事項以外は全て見直ししてはいかがでしょうか。「戦略」「総合計画」「プロジェクト」も人口6千人の自治体としては事項が多すぎませんか。補助金の関係もあるかと思いますが、新町長となったことを奇貨として「町長の5つの提案」に集約してはいかがでしょうか？

- ✓ 飯豊町では町を良くする為にこういうビジョンを持ってどういう目標を掲げそれに向けて様々な事業を行っているというようなことを町民の皆さんの中で知っている人はどれ位いるのだろうか。仕事で関わりのある人・町政に興味がある人・あとは町報を見る人以外知らないのではと感じます。町民の皆さんに協力して頂いたらもっと達成できることが、良いアイデアが出るかもしれません。例えば若い世代にも知ってもらうために園や小中学校で『飯豊町の総合計画』について教える機会があればどうかと思う。また、小中学生を対象とした事業はあるのですが、高校生や大学・専門学校生も参加させた方が出会いや交流の場にもなるし、飯豊町を広くアピールしてもらえたりと利点があると思う。
- ✓ 一般的に、図書館にレファレンスサービスというものがあると思います。これまで書かせてもらった中には、既に町の取り組みとして行われているものもあると思います。なかなか町の取り組みを隅々までは把握できないので、こういう企画はありますかとか、役場まで行かなくても、気軽に聞けるような場所や仕組みがあるといいなと思います。

No.	プロジェクト名	意見
1	いいので子大したもんだプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 机上学習の優先により、自然に対する学習が少ないと感じます。河川・水がどうして危険なのか、野生動物がどういうものか、また、今まで生きてきたいいでの文化についても学習の機会を増やしては。 ✓ 「自分で物事を考え、課題を乗り越えていく力を育てること、困難に負けずに自分の足で立って生きていく力」を育むための取り組みとして、有効であると思います。算数・数学検定、漢字検定については参加者が固定化し、SDGs に対する意識も育めているということでしたし、小さな自治体ならではのきめ細かい配慮ができていたのではないかと感じました。ただそれ以外、愛着心を育てる・地域に関心を持たせるというところでは、輪番制のようにしてしまい、より多くの大人を巻き込んでしまうのがいいのではないのでしょうか。役場や公民館、学校だけが大変になるのは長続きしないと思うので、外部に役割を転嫁してもいいのではないかと思います。 ✓ 中間年度累計目標値(以下単に「目標値」と記す。)を達成している。あらたに目標を設定してもよいのでは。 ✓ 数値目標に対し実績が大きく上回っていることは、各学校の取り組みの積み重ねである。 ✓ 検定や難問クイズなど、「自ら考え課題を乗り越える力」を育む取り組みについて成果が上がっていることはすばらしいことと思う。 ✓ 地域学校連携推進員の努力で、町や地域を愛する心の醸成をめざした様々な取り組みが行われるようになった。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校は様々な学習の場を設けその成果が出ていると思います。子どもたちのトラブルに関してはすぐに大人が介入する事なく、自ら考え判断する事業づくりも大切にし、最後に「大したもんだ」につなげる事業だと思います。 ✓ 我が家に子どもがいないので、ぜひ発表の場を作り、町民に見せていただきたいです。意見の中にありましたが、親が知らない飯豊町のことを子どもたちから教えてもらえるなど、とても素晴らしいことだと思います。 ✓ 現状は学寮工場を目指している。事業目標と将来ビジョンに合う事業修正が必要。子どもたちの SDGs の取り組みや学校等の発表をする機会を多くする。 ✓ プロジェクトを数年間実施してきた中で、その意図や認知度も高まってきたと思います。今後は、子どもたちが受け身で参加するのではなく、プロジェクトの企画・運営に参加する方向にステップアップする方向で実施していただきたいと思います。（飯豊町のチャレンジショップがある東京都高円寺では、地元の小学生が地域イベントをモチーフにしたハンカチ作成販売事業を、企画から実践まで主体的に行っていることがありました。） ✓ 各種検定に関して、小中学生よりも高校生の方が大学受験や就職のため等自発的に資格取得したい人が出てくる。例えば英検 1 級だと約 1 万円と高額なので助成があると資格取得し易いのでは。また、こども議会に高校生も参加し毎年開催したら良いのでは。 ✓ 子供たちが何故学習するのか、目的を少しでも自分なりに考える機会になることが重要だと思います。将来どのようなことを実現したいのか夢を話せる子供が増えることに繋がれば素晴らしいプロジェクトです。 ✓ 少子化を逆手に先生との学習内容の濃密により学力 No.1 地区にして移住に繋げる。 ✓ 1. プロジェクト概要の上段「困難に負けずに自分の足で立って生きていける力」を飯豊町では具体的にどのように捉えているのか？自立とは自分の足（力）だけで立つことではない。依存先を増やしていくことこそが自立と考える。困ったときに助けてと言えること、誰かの力を借りられること、その力こそが生きていける力であることはもちろんのこと、それが日本で増え続ける児童生徒の自死を防ぐことでもあると考える。算数・数学・漢字検定に重きが置かれており、そのような取り組みがなされていないと感じる。内部検証に「知識だけでなく自己で考え乗り越える生きる力が身につく事業の推進してほしい」とあったが、全く同感である。子どもの主体性と当事者性を奪うような取り組みはやめるべきであり、「子どもの権利（子ども基本法）」を知ることや「主権者教育」こそ、取り組むべき活動だと思う。※昨年の検証シートで提案させていただいた山形県が令和 5 年 3 月に策定した

No.	プロジェクト名	意見
		<p>「いのち支える山形県自殺対策計画（第2期）」に基づく「SOS の出し方・受け止め方教育」モデル事業の実施を飯豊町（第一小）で実施していただき、ありがとうございました。保護者向けにもぜひ開催していただくと良いかも。中学校では実施されたのでしょうか？（県の検証では、SOS の出し方教室に取り組んでから、山形県の児童生徒の自死が減少しており、一定の効果があったようです。）</p> <p>✓ 1.プロジェクト概要の下段 解決策のところ</p> <p>子どもたちにとってはハードルが高く、大人の良かれが詰め込まれ過ぎていて、読んでいて辛い。まず、そういう大人が飯豊町に何人いますか？この解決策を考えた大人たち、高い志と誇りを持っていますか？広い見地と国際的な視野を持っているのでしょうか？子どもを苦しくさせないください。生きていてくれることそのものが尊重される機運が醸成されることを切に望む。</p> <p>（以下は、2023年にも意見致しましたが、諦めずにまた書かせていただきます。）事業目標/将来ビジョンに「学力向上ではなく」とあるが、算数・数学・漢字検定の受験に力を入れることは、逆行している気がする。令和7年度の実行計画には「検定の新規受験生徒を増やす」とあります。くれぐれも強制的な誘いにならないようにしていただきたい。主体的な学びでないものは、子どもにとってやらされ感しかなく、子どもの主体性を奪うものである。もちろん、自ら参加したいといった生徒は応援すべきですが、自己分析の改善すべき点に「挑戦する子ども」の数が少ないとあるが、チャレンジしない子どもというのが、まさしく主体性と当事者性を奪われた子どもの特徴なので、そういう子どもを生み出してしまった飯豊町の教育そのものを見直していくことが必要。小さい町だからこそ出来る教育改革！新町長に期待！！急激な人口減少により、これからの受験制度は大きく変わっていく。求められるのは、同調圧力に流されることなく自律的・論理的に最適解を導き出せる力である。</p> <p>✓ 唯一評価できる点は、SDGs 学習発表会。社会課題への興味関心をより高めていくことが、目指す町の姿にある「心の豊かさ」につながる。</p> <p>学習発表会・活動発表の実績値が初年度以降減ってきているのは、累計目標に達しているから、これ以上 頑張らなくても良いという考えなのでしょうか？今、子ども自身が感じている身近な社会課題を解決する経験をするとは、社会は自分の手で変えられるという未来への希望につながるので、検定よりも力を入れていただきたい部分であると思う。それが主権者教育や民主主義の学びになり、飯豊町への愛着が育まれるきっかけになるのではないかと思う。※神乃湯さんにあるコインランドリーは飯豊町の子どもたちの声が反映されて設置されたと聞いています。お母さんが隣の市まで行くのが</p>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>大変そうだったからという社会課題を認識し解決した事例で、とても良いなと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業見直しの際、子どもから声を聞いたのでしょうか？もし聞いたのなら、その意見は反映されていますか？ 「私たち抜きで、私たちのことを決めるな」子どものそんな声が聞こえてくるようです。まずは大人が子ども基本法を知り、子どもに関わるプロジェクトは子ども主体で見直していくことが必要だと思います。 ✓ 子供たちの学力だけでなく、考える力や実践力を育てたいという方針が、とても大事なことだと感じました。ぜひいろいろなことを体験する場などを設けていただけたらと思います。 ✓ 「見直し検討」のような改善が必要。難問クイズは大人でも難しい。チャレンジするものの、わからないものはわからない。紙を配って終わりではなく、体験型の事業が望ましい。ex) 丸一日縦割り班での野営
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ まちづくりセンターはどんな位置になるのか。公民館とはどう区別するのか。役場では課が来るのですか。実動員（職員）はどう変わるのか。住民は理解できていない。 ✓ 住民主体の地域づくりの支援に効果がある、3.については、若い世代のコミュニティ作り貢献したと評価できると思います。仕組みづくりと補助金の提供を行なって細やかに面倒を見るというのは、なかなかできることではないと思います。ただ 4.現状分析の改善すべき点で「同じ人ばかりが地域活動に参加」とあり「事業がマンネリ化」というのの一因がここにあるのかもしれないと思いました。また NO.3 の町民総主役化 pj と目指している方向が似ているようなので、2.については従来通りのコミュニティ維持を目的とする内容とし、3.についてはプロジェクトベースのチームビルディングを行うのが良いと思いました。既存の勢力がいる中に、新規に分け入っていくのは容易ではありません。それよりも似たような思いや考えで集まりできたチーム・コミュニティが、徐々に地区の中に入っていく方がスムーズに進むような気がしました。 ✓ 2つ目標値がほぼ達成である。ポイント制度の導入はどうなっているのか？目標として相応しいのか？個人的には研究所が実態に即した提案、活動が可能か見ていきたい。 ✓ 各町づくりセンターで、様々な工夫をして活動を企画・運営しようとしていることは評価できる。 ✓ No.3 のプロジェクトと事業内容等の重なりが目立つ（いいで未来カフェ、まちあそび部、町づくりセンター事業等）。どう捉えたらいいのか？ ✓ 中学生までは町との関りも強いのですが、高校生になると希薄になってしま

No.	プロジェクト名	意見
		<p>う気がします。その年代をターゲットにした飯豊町を思ってくれる更なる発信があればと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 同じ人ばかりが地域活動に参加していることが気になります。魅力や楽しさを感じていないという事だと思います。どうしていったらいいのか考えないと思います。 ✓ イベント実施が目的になっているため、同じメンバーが参加している現状。町民がメリット感を味わえることはもちろんですが、町の良さを感じられるような自治体ポイント制度を導入することが急務。 ✓ 地域の状況を住んでいる人全体で知ることが、まずは大切だと思います。いつまでも行政が補助支援していくことは、無理であり限界だと思います。過去、現在、将来の地域の現状についての資料がいつでも見れる環境を作っていただいて、地域内で意見交換する機会につなげるような環境を地域と共につくることがまずは大事だと思います。 ✓ 地域で稼ぐ、収入を得るという意識を持つための情報提供が必要と感じる。 ✓ いいで農村未来研究所が社団法人化しましたが、中身が見えず周知されていない。 ✓ いいで農村未来研究所については、住民以外の幅広い意見や情報を発信・共有してくれたことや知見を持った方との人的交流があったことや一社法人の独立に至ったことは評価できると思います。 ✓ 流れがよくわからない。実施していても浸透していないように感じる。 ✓ 地区への補助金は、受動的な消化、一種のバラまきようになってはいないか？ 市民活動の本質は行政の補完ではなく、市民(町民)自身が課題解決や地域の未来について考え行動することにあると思うが、良かれと思つての補助金が、その本質である町民の主体性が失われることを助長してはいないか。知り合いの若者が飯豊町で居場所づくりをしたいと準備しているが、なかなか補助金などがなく苦労している。例えば、地区の補助金をもう少し減らし、本当に主体的に取り組みたい人や地域団体に渡す仕組みがあるとよいのかなと思う。減らした分は、プロポーザルなどにして（山形市コミュニティファンドのようなイメージ。あれは市民の寄付なのでちょっと違うとは思うが）、プレゼンテーションをして獲得する補助金にするとか。 ✓ 令和7年度の事業内容のところ、地域づくり団体の育成。SNSを活用して、その活動が多くの人々の目に触れることが大事かと思うが、前向きに検討いただけそうか？ ✓ 自己分析の改善すべき点の一番最後に記載されていた「目的は何かの再認識」大事！ 目的が手段化していないかという点は見直す必要がある

No.	プロジェクト名	意見
		<p>と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ (以下は3年連続で書いています) 町民でジェンダーについて学んだり考えたりする機会の創出がなされていないことは課題ではないか？女性や若者が大きな声で意見すると叩かれる地域性が根強く、私自身もとても生きづらいつ感じている。 ✓ 飯豊町長とおはなし会というのがあると思いますが、とても良いことだと思うので、各地区バージョンのおはなし会があったら良いのではないかと思います。 ✓ それぞれの公民館などで、担当の方を中心に、地区の住民の方を何人かお声掛けしてお呼びして、地元のお茶やお菓子などを振る舞いながら、ざっくばらんにお話して、住民がやりたいことや意見などを吸い上げる場になったらと思います。担当の方にはご負担になるかもしれないので、お話が得意な方や住民とつながりがある方の協力を得ながらだと良いと思います。 ✓ 広報に、町長宛に住民が意見などをかける葉書をつけていただいていると思います。何でも書いていいとなると、何を書いたら良いかわからなくて書けないと言うのもあると思います。町長から住民の方に聞きたいことや、意見が欲しいテーマなど、わかりやすく投げかけてもらえると、お手紙のような感じで少し書きやすくなるかなと思います。町長さんとのやりとりができるような感じになって、楽しめる部分もあるのではないのでしょうか。 ✓ 行政・地域・個人に色んな温度差がみられる。補助金の使い道等具体例を挙げて活用してもらっては。 ✓ 活動に対して、コンテストで表彰等があってもいいかも。
3	町民総主役化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 総主役とはどの年代までをいうのか。難しくなっている。高齢者をいかに主役にするのか。共助・公助と主役は相反するもの。視点がわかりません。 ✓ 3つ目標値全て5割以下である。参加者も限定的では無いのか。目標値を下げるか、違う目標を設定してもよいのでは。 ✓ なぜ自己評価がC評価となってしまったのか、その原因を十分分析してほしい(他のC評価のプロジェクトについても言えることだが)。 ✓ 飯豊中の教育目標の「地域に貢献する生徒」を受け、中学生のボランティア活動の受け入れや支援が進んできたことは、大きな成果である。 ✓ 同じ方が主導するのではなく、全く別の人・団体を起用し作業して頂くと言う事も主役化になると思います。 ✓ 「移住してきた人は自由に色々できていいわね」と言われたことがあります。自由に新たな活動やチャレンジを受け入れてもらえない環境がまだまだ飯豊町にはあるように思います。 ✓ 町みらいミーティングの参加者数の減少の要因を検証する必要がある。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 飯豊町の資源を活用した企業や、民間組織、中学生などの動きがマスコミ報道や広報等で照会されていることは素晴らしいと思います。これからも、地域貢献したい、地域資源を生かしたい、環境を考えたいなど多くの動機が実現できる、人がつながるような気軽に門をたたきやすい窓口の拡充をお願いしたい。 ✓ 未来カフェの活動を町内だけでなく町外でも広く行い、若い人達に飯豊町の良さをアピールする機会を兼ねて頂ければと。 ✓ いいで未来カフェの取組に期待しています。継続に向けた課題も知りたい。 ✓ 5年後、10年後の飯豊町をどのような形にしたいのか。基本的なフューチャープランを描き、ランドデザインを策定すべき。 ✓ 難しいが継続は力。 ✓ 町内に町民主体によるサードプレイスが創出されることを期待している。 ✓ (以下も3年連続の記載です) 意見として出させていただいた朝日町のゲストハウス松本亭に視察や調査などご検討いただけたのか？ ✓ 地域おこし協力隊の力は借りられないのか？ ✓ 「共」空間を必要としていない若者をどう巻き込んでいくかについて、簡単ではない課題ですが、興味のあるものを抱き込むのが有効かなと思います。例えば、YouTubeなどの動画配信サイトは、若い人は誰でも見ていると思うので、YouTuber (V Tuber) のように、動画配信体験は興味を持たれるのではないのでしょうか。飯豊町に関する動画配信を、若い人に入ってもらうながら取り組むことで、飯豊町のことを知ったり、地域とのつながりができたり、一方で、動画配信技術が身に付くことで、個人の活動の技術が上がるなどの助けになると思います。他にもあると思いますが、一例として。ネットやテレビ等で、都会にしかない、若い人にとって魅力的な情報がたくさん溢れている中、田舎で若者が興味あることを提供できるのか、と言うのが難しいと感じます。地域づくりに参加するとは、具体的にはどういうことかわかりませんでした。機会があれば詳しくお聞きしたいです。 ✓ いいで未来カフェの活動がより枝分かれして幅広い年齢層で活動できていることが望ましい。また、地域学校協同活動推進員の方々は地域と学校、様々な団体とをつないでくださるのにとっても大切な存在。 ✓ ふわっとしていて具体策がイメージできない。ほかのプロジェクトの統合的な名称であると感じる。
4	いいで田園ルネサンス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 伝統文化の継承と言いながら、現実には減反政策により耕作放棄地が増え、伝統の制作物文化は消滅しています。笠、わらじ、テングなど知らない人がほとんどです。 ✓ 飯豊町で暮らすことの意味や価値をルネサンスするために、伝統文化体験

No.	プロジェクト名	意見
		<p>等を開催できたのは良かったと思います。移住者から見れば、その土地の暮らし方や文化は貴重なもので興味があるように思います。元々飯豊生まれの方には当たり前のものと映るのかもしれませんが。その場合、町内だけではなく門戸を広げ、外部からの評価が上がると、住民も興味を持つということがあるかもしれません。マスコミや文化庁などとも協力できるかもしれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 2つ目標値全て0である。1つが3 / 5。数値目標の指標と実際の事業が合っていないのでは。このまま事業を継続するなら指標を変えるべき。 ✓ プロジェクトの内容が抽象的であるため、なかなか取り組みが進まなかったのではないか？ ✓ 貴重な伝統文化をめざみの里まつりで見たり体験できることはとても評価できます。 ✓ めざみの里まつりでの獅子の競演はとても良かったです。菅笠作りも高齢の方ばかりが作業されているという事だったので、私も近々教えていただくことになっています。 ✓ 方向性、事業の見直しの検討の通り継続してほしい。特に地区まちづくりセンターの活動の活発化が必要。 ✓ 人間らしく、ゆとりをもって、個を考えながら結の精神で暮らしを営む。自然多き農村ならではの暮らしです。基本となる農村文化の継承が大切です。高齢者の皆さんは、農村文化の中で暮らしてきました。子供たちは、その文化にふれる学びの機会があります。しかし、全世代で継承できているでしょうか。家庭の中でも話題となるような体験や、多世代の参加の工夫が必要と思います。 ✓ 将来的には、源流の森の展示室だけでなく、文化が体感できる場があればよりいいと思います。 ✓ 『暮らしを学ぶ』という点で言えば、近年のインバウンドツーリズムで雪国体験ツアーが大盛況らしく、除雪体験・除雪機乗車体験等雪が珍しい地域の人達から見れば観光の一つになっている。そういった日常生活のマイナスに考えそうなことをプラスに変えて何かできないか。『獅子の競演』は、観客があまり集まらず獅子連や祭典係の方々はがっかりしたらしい。町外へのアピールがもっと必要だったのでは。 ✓ ルネサンスとは、文化・芸術の大変革ということらしいのですが、そのような大きな事も大事ですが、里山の豊かさや環境を活用した新しい価値創造の提案はありました？ ✓ 5年後、10年後の飯豊町をどのような形にしたいのか。基本的なフューチャープランを描き、ランドデザインを策定すべき。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ せっかくの恵ある飯豊。インバウンドの体験型にできないものか。 ✓ 取り組みは良いが、成果がなかなか形になっていないのでCにした。 ✓ シビックプライドって言葉、みんなわかりますかね？ ✓ 令和7年度事業内容 菅笠作り体験はいいですね！ ✓ (以下は3年連続の提案です) 子どもたちのための「プレーパーク」があれば、家族での移住を考える人も出てくるかもしれない。 ✓ 「やっぱり、飯豊で幸せになる。」のPR動画が素晴らしいです！きれいすぎるくらい美しいです！町内の主要な施設などでも流してもらえると良いのではないかと思います。もっとたくさんの人に見て欲しいです。一方で、動画を見ていて気づいたのは、中高生、大学生あたりの世代がいらないなあということに気がつきました。今の実情が反映されているのだろうかあと感じました。10代、20代の活躍がもっと表で見られるといいのかなと思いました。 ✓ 手ノ子幼稚園の園歌が大好きです。町民の方の作詞で、自然溢れる手の子の風景や、自然と仲良しな人の心が歌われて、とてもほっこりした気持ちになります。閉園になって歌われなくなっているのが悲しいし、もったいないです。手ノ子小学校の校歌も同様です。近い将来閉校になって、歌われなくなって、忘れられてしまうのは悲しいです。せっかく良い歌なので、施設名を替え歌するなどして、町内で聞こえる場があったり、歌詞が見れたりして、誰でも歌えるようにしてもらえたら嬉しいです。 ✓ ウメチギリ先生のちぎり絵体験がすごく良かったです。ものすごく感性が刺激されましたし、同じ作品でも、人によって選ぶ色が違ったりと、お互いの個性を認め合うという面もあって、中身が濃かったです。もっとたくさんの人に参加してほしいです。 ✓ あ～すまいり～ず手塚娃子先生が制作された飯豊町に関係する紙芝居が素晴らしいです。先日は第二小学校4年生の授業で、穴堰の紙芝居を拝見しました。飯豊町の歴史を知ることができて、とても勉強になりました。他にもいろいろな作品があるのですが主に小学校での実演なので、中高生や大人の方にも見てもらう機会があったらいいなと思います。 ✓ 内容や対象がかなり広いので、特に伝え残したいもの等は絞って長いスパンで活動に移してはどうか。1年間にこだわらず、2～3年で活動。 ✓ 目標は、文化の継承に絞った方がよかった。他が具体的に何をしたらいいのかわからない。
5	子育て世帯への総合的支援	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現実には厳しく、第2子となるとハードルは高まります。金銭もですが、親の労力や時間の地域差等、問題ばかりです。 ✓ 子育て世代の経済的負担軽減策や家庭支援、居場所づくりなど、子どもが生まれてから成長するまでの間に関わりのある多方面にわたって、きめ細

No.	プロジェクト名	意見
		<p>かくケアできている点評価できると思います。これ以上手厚いケアができるのだろうか…というように、子どものいない私からすれば見えるのですが。パパさん、ママさんたちのご意見を聞いてみたいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 指標 3 つのうち 1 つが既に達成。事業が見えやすい。「不妊治療費補助事業申請件数」という目標値が 10 年計画の 2 年目で終了するようなものであれば、そもそも目標値として相応しかったのか、という点は残る。 ✓ 子育て親育ち教室への参加者が多いのはすばらしい成果と思う。 ✓ 放課後子ども教室の実施については、祖父母の協力を得ていくことが早道と思う。小学校再編後になると思うが、期待したい。 ✓ 子育て世帯に手厚い事業が多岐にわたり充実していると思います。 ✓ 子育て世帯は本当に大変な時期だと思います。子ども食堂開設についての検討会をされているようですが、居場所づくりの為にぜひ実現していただきたいと思います。 ✓ 現状分析の通り、事業継続。 ✓ 子育て支援センター・こども未来館が中核となって、住民の思いを感じ、意見を集約し、子育て事業を企画実践することになると思うが、その機能権限をより付与し、町民にも党が機能を周知すべきだと思う。また、認定こども園、子育て世代包括支援センター、学童クラブやファミリーサポートセンターなどとの連携や役割分担も十分行い、多くの方への情報発信による利用拡大を図ってほしい。 ✓ 多世代同居による子育ての方向もあると思う。その中で得られる暮らしの知恵や文化、伝統風習は、地球で生きる糧になる場合がある。ぜひ、継承してほしい。 ✓ 『経済的負担軽減』に関しては、園から中学までの支援は充分。高校・大学・専門学校等の学生に電車通学費を支援すれば利用しやすくなり今問題視されている JR の乗車率も上がるのでは。 ✓ 子育て世帯に対して具体的できめ細やかな活動が実施されており、安心して飯豊町で子供を産んで育てることができると思いました。これからもユニークな取り組みをお願いします。 ✓ 人口減少は大きな課題と思う。もっと活力すべき課題と思います。 ✓ 給食の無償化。学童保育の無償化。 ✓ 国の施策に遅れをとることなく事業が実施されていて評価できる。 ✓ 自身が運営する NPO では全国で初の公(山形市)と民(NPO と社協)で「子ども見守り宅食事業」を実施、また新年度からは「子育て世帯訪問支援事業」を実施予定です。どちらも子ども家庭庁の予算ですが、飯豊町に協働できる NPO があったら実施できるのにな…残念。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ こども食堂について、とても良いことだと思います。以前新聞か何かで、川西町の学生さんがこども食堂に取り組んでいるという記事を拝見しました。その中で、子供から「これしかないの？」「もっと違うのがいい」と言う言葉が聞こえて、やる意義があるのか疑問を持ったけど、その後、子供たちが畑で野菜作りや収穫したり、配膳等に参加するようになって、めんどくさいと言いつつも、自主性が育って、成長する場面が見られて、やりがいを感じた。という内容だったと思います。ぜひ利用者も参加型で、提供してもらうのが決して当たり前ではないこと、食材や食に関わるすべての人に感謝することや、いつか一人暮らしや家庭を持った時に、野菜を育てたり調理したり、食事環境を整える力など、子どもたちの生きる力が養われる場になってほしいです。（若い人の調理クラブの参入や、農産事業などにつながったりと、いろいろ期待してしまいます。） ✓ いつまでも人口減少をうたっているもしかたがないので、出生後のサポートを充実してもらいたい。
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一部のみにしか見えない活動です。 ✓ 一元的な困りごと相談窓口の開設や、成年後見センター設置、あゆむいでの設立のほか多数の講座や催事など、飯豊町で安心して暮らすための組織や取り組みができていく点、地域への貢献度が高いと思いました。認知症サポーターの活動については、各公民館での文化祭の時期などに紹介をしてもらうなどで周知するのも良いかと思いました。 ✓ 指標 3 つのうち 2 つが既に達成。一方、「小中学校での認知症サポーター養成講座の開催」は 0 である。1 事業だけに注目すれば、小中学校で開催されるに越したことはないが、小中学校は義務教育の場であり本来の授業優先で良いのでは無いか。中間年以降の目標値をどのように設定していくか課題。 ✓ 小中学校での認知症サポーター養成講座については、教育振興室と連携し、前年度の早い時期から計画すれば十分実施可能と思う。講師は、町外から招聘することもできるのでは。 ✓ 成年後見センターについて、町民にわかりやすく広報してほしい。 ✓ 民生委員と町の連携も良く福祉課の方の対処・解決まで大変良いと感じています。 ✓ 小中学校での認知症サポーター養成講座が開催され、すでに 699 名ものサポーターがいらっしゃることに驚きました。どのような活動をされているのか、ぜひお聞きしたいです。 ✓ 数値目標クリアしたことにより、町民からの相談件数や実績など知りたい。相談件数と解決できたのかを。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在の世の中で、学校にいけない子供、社気になじめなく外にも出れない人、心身や身体の状況で職に就けない人など、多くの事情を抱えている人がいます。町内の状況はわかりませんが、どんな状況の時に、本人が、親や家族が、友人が相談できる場や連絡先等の充実した情報提供が必要と思います。 ✓ 農村の中でも、多様性が認められ、尊重される社会を目指して、個々にリスペクトの精神で、個性、能力を発揮できる町であったほしいと思います。 ✓ 『認知症サポーター』が699名いるそうですが、活動の中身が見えないのでどのように役に立っているのかもわからない。 ✓ 小中学校生徒が認知症サポーターについて学ぶということは、同居する高齢家族がいる場合良好な関係構築に役に立つ知識だと思しますので、大変良い取り組みだと思いました。 ✓ 高齢者は孤独も多く認知症へもつながるので、訪問会話のボランティア等を募る。 ✓ ゲートキーパー講座。たくさん開催出来て良かった！ ✓ 窓口は大変ありがたいが、相談率は？やはり近所同士のあいさつや関わり合いがとても大切に思う。 ✓ ほほえみカーの町内知人宅利用はどうか。
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 参加者に偏りが見られる。コロナ以降、活動が難しくなっている。 ✓ 100歳体操の実施や、らくらく筋トレ、ウォーキング教室、健康教室など、充実した取り組みによって、町民の健康づくりを推進していると思います。改善点があるとすれば周知の方法かと思いますが、関心のある方は情報をキャッチしていると思うので、改善の余地はないのかもしれませんが。あとは、たとえば健康診断と抱き合わせで、健康維持の啓発活動などやられると、健康に関心のない方にも響くのかなとは思いました。 ✓ 指標4つのうち2つが目標値達成。事業が見えやすい。指標としている「アプリ」は早期に目標から降ろしてはいかがか。もちろん、理由、説明は必要だが、目標値達成2つは主催者だけでやれる内容なだけに「参加者数」の増加を望みたい。 ✓ 高齢者中心と思うが、健康づくり事業への参加者が増えていることは、大きな成果と思う。 ✓ 高齢者の事業参加が増えている一方で若い世代は子育てと仕事で運動する機会が少ないとしたら子どもの加入しているスポ少やクラブの送迎の合間で少し体を動かせる場所があれば、やりたくなる方も少しはいるのではないかな。そこから、一人、二人と増えて、ゆくゆくはスポ少加入率アップに繋がれば。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分の頑張りがポイント達成で目に見えてわかるのはとても良い事業だと思います。アプリを導入して若い世代を取り込んでいくのは大切だと思います。 ✓ アプリを活用した町民全員坂できるウォーキングコンテストで楽しく健康づくりや町民同士のコミュニケーションにもつながると思う。 ✓ ポイント事業については、カードからアプリへの転換により、多世代が参加できる仕組み構築が必要だと思います。また、健康、福祉、スポーツ関係だけでなく、読書や、囲碁将棋、ゲームなお、多岐にわたり参加でき、体も頭も心も健康につながるものを取り込むこともあり得るかと思います。さらには、単年度に限らず、将来の支えあいにつながるようなポイント導入の仕組みも検討してほしいと思います。 ✓ ポイント実施期間が、5月から翌年1月までということに違和感を感じます。 ✓ 白川ダムマラソンが事業の一つになっている様ですが、町民が参加しやすいように工夫が必要では？(町民は無料とか) ✓ 高齢者のための健康作りに関しては定着していて効果が見られますが、若い世代は関心が薄いように感じます。 ✓ 高齢者の100歳体操等は定着してきていることは評価できます。飯豊町内企業の従業員は健康維持のためにOFFの時間をどのように活用しているのでしょうか。町外の施設を利用している可能性は無いのでしょうか。トレッキングができる環境は無いのでしょうか。 ✓ スマホアプリで「歩くと」歩数で参加者を募り、町から賞がもらえるとか。 ✓ 運動やスポーツと言うと、本当に運動不足の人にはハードルが高いと感じるので、ストレッチやリンパマッサージなども取り入れてもらえると、取り組みやすくなるのではないかと思います。若い世代や女性にはダイエットや美容、ファッションなどとくっつけると、自分事になって、健康意識が高まるのではないのでしょうか。町のイベントで、健康や運動に関する紹介や体験の枠を取り入れると、認知度など上がるのではないかと思います。動画配信サイトのオススメの動画を紹介したり、またはその動画を配信している先生をお招きしての実践講習があったら素晴らしいです。(例：Marina Takewaki、ストレッチ整体師とも先生 など (YouTube より)) 町内のジムに興味はありますが、行ったことがないと行きづらいです。初めての人も行きやすくなるような工夫がほしいです。 ✓ 参加者が固定化してしまうが、声を掛け合ったり楽しさを発信することで少しずつ参加率が上がれば。 ✓ 健康＝運動になっているが、水・空気・栄養・睡眠も同じくらい重要と思

No.	プロジェクト名	意見
8	結婚の希望の後押し支援	<p>う。教育の機会を検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 生活が豊かにならないと結婚の意欲が湧かないと思います。 ✓ 趣向を凝らした婚活イベントの開催（友達づくりとハードルを下げたこと）、支援事業補助金の提供など、結婚への後押し策を頑張っておられると思いました。ただ役場がそこまで介入するはとても大変なことだと思いますので、原点回帰として、地元の仲人さん？諸先輩方？に頼るというのはいかがなのでしょうか。この辺り、得意な方がいらっしゃいます。 ✓ 必要な事業だと思うが、目標とした「参加人数」は17 / 50。「企業数」は0。当事業は目標指標に掲げた内容からすれば「D」とし、事業内容や目標値を再検討するべきである。自己評価、内部評価をBとした意識に疑問を感じる。 ✓ 2年間休止した婚活イベントが実施され、結婚相談会だけでなく様々な事業が行われたことは喜ばしい。人口減少、少子化を少しでも食い止めるために、大変重要なプロジェクトと思う。 ✓ 婚活というよりも「友達づくり」というテーマでイベント開催をされてことはとても良いことだと思います。移住体験ツアーでいらした都市部の方たちとイベントをするというのいいのでは？ ✓ 若年層が結婚に対するイメージをしやすいイベントや婚活イベントより、カヌーで友達づくり等、参加する中でお互いを知ることが大切。ミドル世代、シニア世代への婚活サポートの取り組みも必要。 ✓ 結婚の希望とは何なのか。ダイバーシティとともに、価値観が変わっており、結婚を意識しない人も出ている。 ✓ 結婚をしたくてもなかなかできない人もいることも事実だと思われる。ただし、行政が企画しても大胆なことができません、成功には至らないことも現実だと思うので、やりたい人や広域的な事業者を支援して事業に向かう方向が必要ではないかと思います。 ✓ 『婚活』『友達作り』と区切ってしまうと参加者に制限がかかってしまい人数が集まりにくいので気軽に行きたくなるようなイベントの方がベスト。(30歳の同窓会を町主催のイベントとする等) ✓ KPI だけ見ると全く目標に届いていないので見直しが必要なのは。 ✓ イベントも大事だと思いますが、本人のブランド力向上、自身の考え方、捉え方をを変えていくようなセミナーはいかがでしょうか？ ✓ KPI は理解できるが結果は？何人が結婚できたのか。 ✓ 飯豊で結婚・出産・移住は全て資金支援かも。 ✓ 出生数を上げるために、もっと支援をするべきではないか。 ✓ 婚活にとどまらず、ともだちづくり、知り合い作りの活動は参加しやすいと思

No.	プロジェクト名	意見
9	移住・定住、田園回帰の加速化	<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ せっきくデンソーのような会社が町内にあっても、その従業員の多くは町外から通っている。町に住んでもらうアピール不足か。 ✓ 移住相談会への積極的な出展、定住後の就労や住宅取得支援まで、手厚いフォローができています。かくいう私も移住フェアでこちらに来させていただいた一人なのですが、飯豊町が凄かったのは移住までのきめ細やかなフォローでした。他の自治体にはありませんでした。そうした気遣いが移住者を掴むのだと思います。なのでラインのお友達登録は有効だと思います。労力のいることと思いますが、引き続き頑張ってください。 ✓ 事業は展開しているのに、数値目標に現れない。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。自己評価、内部評価をBとした意識に疑問を感じる。 ✓ 移住相談会や各種ツアーなど工夫を凝らして実施している。しかし、数値目標の実績値が4年間0では、Cとしか評価できない。 ✓ 移住希望者に住居として提案できる物件が少ないということが大きな問題だと思います。空き家対策の為にも更に取り組んでいかなければならないのではないのでしょうか。 ✓ 成果目標が単年0と4年連続となっている要因は？若者や女性への企業支援はあったのか？移住する魅力発信を外部委託する方法もある。 ✓ 椿にあるモデル住宅や空き家などを活用した、数週間から数か月程度まで滞在できるシステムをつくり実験してほしいと思います。 ✓ 移住や二地域居住にあたっての職確保のためのサテライト企業の誘致、子供の教育のためのデュアルスクールの検討など進めてほしいと思います。 ✓ 近年、結婚したら同居という夫婦は本当に少なく感じます。若い世代のライフスタイルに合った住環境が飯豊町には無いことも人口減少の一因と考えられます。 ✓ 飯豊町に移住してきた方がいれば、なぜ飯豊町を選んだのか、その理由を把握することが重要ではないのでしょうか。また、飯豊町に住むことで満たされることは何なのかを良く知ることで、まだ気が付いていない方やこれから移住しようとしている人に知ってもらうヒントにしたいと思います。 ✓ 飯豊で結婚・出産・移住は全て資金支援かも。 ✓ LINEを活用していくという検討内容に賛成！ ✓ （3年続けて同じ記載になりますが）身近でもテレワークが増え、働く場所を選ばない時代になってきた中、移住者の雪の課題への支援を考慮しつつ、飯豊町を居住地として選んでもらえるように次年度の事業に期待したい。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ U・I ターンの人たちへの支援はどうなっているのか。 ✓ まずは、現住民の満足度を上げ、移住フェアでは誰もが振り向くようなインパクトのあるブースで主張してみてもどうか。相談件数やツアー参加者増につながれば。 ✓ KPI 上の目標と活動がミスマッチしている。車社会が基本であれば、店舗や仕事は近くの市町を含めて考え、その上で住むのは飯豊町となる強みがほしい。
10	<p>確かで柔軟な住環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 空き家の前に、現在の所有者を確認し、空き家となる時にどうするのか所有者と結論が出せるようにすべき。 ✓ 木造住宅耐震診断補助事業やリフォーム、老朽化した空き家の解体・リノベーション・リフォームなど、様々な面に気を配っていると思いました。今後、水害や地震等の災害を鑑みると、住民の命を守るために必要なことが多くある部分だと思います。人的・資金的により重点を置いて取り組むべき課題と思いました。 ✓ 目標値の「エコハウス棟数」は3 / 20。「老朽危険空き家数」は24 / 50。新築エコハウスを指標にするより、改築(リノベーション)を指標とするべきでは無いのか。 ✓ 空き家対策は今後ますます重要になってくる。「広報いいで」で2号連続取り上げるなど、町民への周知に努めていることは評価できる。さらに、所有者との個別対応に力を入れてほしい。 ✓ 住宅政策室という専門部署が設置されたことで町民も相談しやすくなったことと思います。ここでも、空き家対策をどうしたらいいのかに繋がってきます。 ✓ 空き家をリノベーションし、シェアハウスを若者とシニア世代、女性のみ等が協力して生活できる柔軟な住環境は可能か？ ✓ 経済性、環境面等から、飯豊型エコハウスの情報発信が十分でないような気がします。また、町内の人でも、モデル住宅に宿泊体験してもらうような働きかけもあっていいかもしれません。 ✓ 空き家をリフォームして販売する仕組みづくりのための先進地研修、町内建築業者や近隣も含めた不動産業者との連携なども模索してほしいと思います。 ✓ 飯豊町内の賃貸住宅は。古い物件となり、若い世代からは敬遠され、町外の賃貸物件に居住することが多くなっています。空地スペースは破格な価格で提供する、子供の数によって賃貸価格が割引かれる、空き家を取得して住むと20年固定資産税額相当額を補助するなど大胆な住宅施策が必要です。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 次年度空き家対策を重点的に行う予定と聞いていますが、これから廃校予定の小学校がコミセンや改善センター等の様にただの廃墟にならないようお願いしたい。例えばですが、空き校舎をキッズシアやカンドウのような職業体験できる施設を年齢制限なしでというのも面白いと思います。 ✓ 空き家が朽ちていくことは、住民の誇りと希望を失う危険性を有しており、老朽危険空き家解体補助金を増額（50→100万円）したことで、周囲への悪影響が多大の「特定空家」が4件解体されたことは素晴らしい取り組みだと思います。 ✓ 飯豊で結婚・出産・移住は全て資金支援かも。 ✓ 若者が単身で入れる賃貸物件が不足しているという課題を多く耳にしているが、方向性の検討がしっかりなされていたので、その点は評価できる。 ✓ 以前、東京在住のオンラインの友人と話したことで、別荘のような感じで空き家を所有できたらということで、飯豊町の空き家をネットでチェックしたことがあります。物件として良さそうとはなるものの、やはり不在の間の管理（雪や獣、虫など）のあてがないというので、なしになりました。不動産等は無知なので、参考までです。 ✓ 飯豊型エコハウスはハードルが高すぎると思う。 ✓ より周知に力を入れてほしい。 ✓ これからの時代、金額もエコでなければエコハウスは広がらない。機能を絞った家を検討できないか。
11	新たなツーリズムの創造	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各窓口はまだまだバラバラと思います。観光が集中する中津川はオーバーツーリズムになりがちですし、有効に生かせていないと思います。 ✓ 町内の自然資源等を活用した様々な取り組みを行なっています。令和5年度からは特に、白川湖の水没林に注力し、観光庁からの補助金の獲得やWG立ち上げなど人的なネットワークの構築が加速化された点、評価できると思います。ここで町を知り、他の魅力的な事柄にも注目して再訪してもらい関係人口づくりは大切なことなので、今後も様々な施策を期待したいところです。 ✓ 目標指標「関係組織構築数」が今年度6組織となったことは評価できる。また、「総合窓口創設」は来年度創設すれば目標達成となるので可能であろう。ただ、実施事業の内容を見ると、中間年以降の数値目標は一工夫必要な気がする。 ✓ 白川湖水没林観光や台湾インバウンドなど、新しいツーリズムとして高く評価したい。しかし、数値目標の達成度として現れない。総合窓口の創設や二次交通の整備は、必要なのか、必要ではないのか。 ✓ これまでの活動の積み重ねが数字にも表れていると思います。水没林のオ

No.	プロジェクト名	意見
		<p>ーバーツーリズムが心配ではあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 観光協会と連携し白川湖を利用した事業創出を期待します。 ✓ 令和7年度事業の「二次交通の基盤を整備する」観光スポット、体験の一括予約のプラン化は有効。シャトルバスの活用。しらさぎ荘、神乃湯、めざみの里、いちご園、白川荘、長井ダム、岳谷つりぼり、わらび園、ゆり園をAコース、Bコースで回る。 ✓ 新たなツーリズムが、活発化していることは素晴らしいことと思います。そのツーリズムで来町される皆さんが、楽しみにされるものに「食」があると思います。是非、飯豊町の産物を活用した、ずっと提供できる料理、メニュー、加工商品などを作ってほしいと思います。コメはおいしいので、ご飯のお供でもいいですし、雪室ジャガイモもおいしいです。どの店でも、飯豊産米沢牛のメンチカツ・コロッケがあるでもいいと思います。また、こだわった鍋が、町内の飲食店どこでもあるでもいいと思います。 ✓ インバウンドや水没林人気の現状を関係者だけに留まらず広く沢山の町民を巻き込んでのサステナブルツーリズムとして行けるようにアイデアが必要。 ✓ 南国の人にとって珍しい雪が飯豊町には豊富にあるので観光資源としてもっと活用できるのでは。(雪国体験ツアー等) ✓ 水没林やどんでん平のインバウンドによる来町者数と体験型アトラクションに素晴らしい評価を頂いておりますが、更に地元投下される経済効果を増加させる取組をどのように考えていますか。 ✓ インバウンドの強化。 ✓ 目に見える成果を感じている。飯豊町の強みだと思うので、引き続き期待できる分野。 ✓ 海外の観光客に町内に宿泊をしてもらえるように対策をすべきではないか。 ✓ ここ数年、明らかに関係人口の増加が見られるが、経済効果や参加者の声などを町民に発信することで町の良さを改めて認識してもらうのはどうか。 ✓ 一部目標があっていない。
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一部団体、一部の人だけが発信していて、まだまだ外への発信が不足していると思います。同時にそれらの対応に支援も必要と思います。 ✓ 関係・交流人口の増加のために、様々な交流事業の実施や高円寺アンテナショップを活用した事業は効果が期待できると思います。 ✓ 目標値のうち「モニター事業数」は8 / 15。「クラウドファンディング事業数」は3 / 5。目標値を達成したのは「参加者数」だけである。来年度の事業展開に期待したい。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 数値目標に合わせて様々な事業を展開し、成果を上げている。 ✓ ふるさと納税型クラウドファンディング事業は、どの程度成果が上がっているのか。広報等で取り上げてほしい。 ✓ アンテナショップを通じた活動も大変評価できるものだと思います。また、スポーツを通じて交流もいいなと思っております。町外在住のスポーツ関係者、実績を残された方、団体と子どもたちの交流。子どもたちはおもてなしを感謝を含め、地元食材でもてなす等、一つのコミュニティとして広がっていけばなど。 ✓ めざまみの里まつりでの高円寺阿波踊連は町民との交流となった素敵な企画だったと思います。アンテナショップを活用しもっと飯豊町の良さを都会の方に知っていただくといいと思います。 ✓ ふるさと納税型クラウドファンディングの利用に期待したい。 ✓ 地域で飯豊町と交流があるのは、友好都市の南房総市・桶川市、災害応援協定をしている弥彦村、チャレンジショップがある東京都杉並区高円寺純情商店街などがあります。また、企業として、企業の森のある NX グループ、過去に企業研修を実施してきた経過があります。是非、お互いの交流が拡充する、内容が多角化する交流の仕掛けと情報発信をお願いします。 ✓ 町外だけでなく町内の人の中にもアンテナショップの存在を知らない人が多い。特に都市部の方に SNS を利用したりして宣伝することでアンテナショップを通して飯豊町を知って頂けるのでは。 ✓ ふるさと納税のリターンに交流・体験につながるものを取り入れる（体験ツアー、飯豊町やアンテナショップで開催されるイベントへの招待 等を充実させることで、高額納税者とのより緊密な接点を作ることで多面的な効果が期待できます。 ✓ 更なる PR を。 ✓ SNS を上手に活用しプロジェクトが進められていると思う。
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地元詳しい職員がいないので、地理的なものや境界線など、長く勤める詳しい職員が必要不可欠と思います。また、後継者についてはどう確保できるか大きな問題。 ✓ 町の基幹産業である農業のうち、特に畜産に力を入れて事業を展開していると思いました。黒べこ祭り、ミルクブランドの推進、そしてバイオガス発電の副産物である液肥の活用など、余す所なく畜産の恩恵を活用している点が目立ちました。他の特産品である米や野菜などはどうするのか、林業とは完全にプロジェクトを棲み分けるのか（そのように見える）も教えていただきたいと思いました。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既に数値目標の10倍を達成。自己評価、内部評価ともに、どちらもB判定。計画と事業課の認識に乖離があるのでは？中間年以降の数値目標の指標に工夫が必要なのは。 ✓ 町報で農林従事者を取り上げていたものを大変興味深くみました。農林業を題材にしたQ&Aをシリーズ化等、身近である町報やSNSで発信し新たな人材確保に繋がればと思います。 ✓ 意見の中にもありましたが、魅力発信がいいと思います。明るいイメージを発信することで色々な課題をクリアできるきっかけにも繋がっていくように思います。 ✓ 長期的に取り組む項目。 ✓ みどりの食料システム戦略を踏まえ、オーガニックビレッジ宣言をした市町が置賜に3自治体あります。今後、生産者だけでなく、流通・消費者まで一体となって取り組む有機農業は大切な取り組みだと思います。農業は、この田園地帯で暮らしや生命、文化を支えている基本的産業だと思います。町内の担い手はもとより、全国から風土産業に取り組みたいと選ばられる地域づくりに向けて、是非、有機農業の取組を進める施策を取り組んでほしいと思います。 ✓ 森林と人の関わりが、人間の暮らしの便利さと引き換えに、希薄になってきたと思います。その結果、豪雨災害による被害甚大、有害鳥獣問題などが現れています。山への気づきを、関心を高めるための努力が、全体で必要だと思います。今、森はどうなっているのでしょうか。 ✓ 人にとって大切な『衣食住』に関する仕事が農林業ですが担い手不足が深刻化。大変・辛い等のマイナスイメージを打破して安定した経営を行える環境を作れる何か(補助金等)が必要では。 ✓ 鳥害駆除に対する取り組みが不足しており、田んぼの価値が下がっている事象があります。 ✓ 液肥に関しては全国で処理方法を模索している。飯豊町も先進的な取組を行っており更に進化してほしいです。 ✓ 後継者不足の具体的な解決への対策が気がかりである。 ✓ 菌ちゃんふぁーむ（菌ちゃん農法）というのを家族が注目していて、畑で実験もしているようです。私自身は詳しくないのですが、子供さんが菌ちゃん農法で畑作りに取り組むと、菌の働きで免疫力が上がるなど、体にもとても良いという話など、いろいろと興味深いです。良い事はぜひ町でも取り入れてもらいたいと思います。農産物について、クラウドファンディングではないですが、個人や家元に、農家さんに資金や労働力を投資・提供して、収穫の際に規格外の野菜などの農産物を融通してもらえるような仕組みは

No.	プロジェクト名	意見
		<p>いかがでしょうか。物価高の世の中なので、農家さんとの直接のつながりがあるのはありがたいことだと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 就職先として選択されるような仕事にならなくては後継者は増えない。 ✓ 育成会の行事で実際に森に入り1本の木を切り倒す体験（チェーンソーの音、木が地面にたたき落ちる音）が非常によかった。林業を肌で感じる機会を増やしたい。 ✓ 高齢で農業をやめる人が増加。町内での田畑の引き継ぎ支援の強化ができないか。
14	域内循環社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゼロカーボン事業と連なるとは思いますが、出さないのもそうですが、吸収する森林整備が必要だと思います。出さなことは限界を感じます。 ✓ 地球温暖化やカーボンニュートラル、省エネ・節電の普及啓発を継続して行っている点が評価できると思いました。目標に掲げたエネルギーの地産地消、というのはなかなか難しいことだと思います。加えてこの豪雪では尚更施設等に制約も加味されると思うので、ペレットや薪と、バイオガス発電、太陽光発電などの組み合わせを各家庭が考えることが重要になってくるように思いました。 ✓ 指標2つのうち1つが既に達成。もう一つが0。評価が難しい。「バイオマス」「CO2」と言っている時に、自己分析で「畑がない家庭にも補助すべき（電動生ゴミ処理機など）」は違う話だろう、と感じる。「計画遂行」の視点では無く、税の用途の公平性で議論していただきたい。 ✓ このプロジェクトについては、特に町民の理解を深めることが重要と思う。その意味で6年度、フォーラムもワークショップも開催されなかったことは残念である。 ✓ ゴミカレンダーは一は分かりやすく、いつも活用させて頂いています。大きなことはなかなか分かりづらいので、住民一人一人が取り組めることを進めていくことも大切なのではないかと思います。 ✓ 長期的に取り組む項目。 ✓ 化石燃料から再生可能エネルギーへの転換導入は、早期に必要なだと思います。地球がどんな状態なのか、もっと積極的に情報提供する必要があると思います。 ✓ 身近な暮らしにおいて、環境配慮が浸透していると思いますが、より注意していくための、家庭内や、集落内で取り組みを行えるポイント制度や、報告会・意見交換会。実践内容や環境配慮の機械器具の展示会など実施する方法もあると思います。 ✓ 内部検証にもありますが『脱炭素先行地域100』に関して周知されていないと感じる。まず中身を知ってもらい町民一人一人が意識して取り組んで

No.	プロジェクト名	意見
		<p>もらう工夫が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ながめ山に牛舎が増えたことにより悪臭の発生を指摘する住民の意見があります。せっかく素晴らしい取り組みを行っているので事業の発展と継続を願いつつ改善は必要ではないでしょうか。近隣には 113 号線が通っており、しらす荘、道の駅、自然の家、ゴルフ場等交流人口が多いエリアを考慮。町として臭いに関してどのように認識していますか。 ✓ 持続可能なまちづくりフォーラムの開催予定はあるのか？ ✓ 大人でもかなり学習が必要。
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町民の若者参加が少なく、また、引きこもり者もいます。どんな人材がいるか、どんな活動ができるかを考える必要があると思います。 ✓ 地域内での支え合いの場所・組織体制の構築に貢献できていると思いました。冬場の中津川は特に各家が孤立しがちなので、次シーズンは、できる時間だけでも除雪支援隊をして、顔を知っている関係を作りたいと思っています（もしくは地区で 60 代以下を輪番制にしても良いのかもしれないと思いました）。 ✓ 3 指標全て既に目標達成。事業も見えやすい。計画、目標、指標がもっともマッチしたプロジェクトだと思われる。中間年以降の数値目標の指標に期待。 ✓ たくさんの成果を上げている。目標値達成まであと一歩。7 年度に期待したい。 ✓ 買い物支援については、今後移動販売のニーズが高まっていくように思う。 ✓ このプロジェクトは、人とかかわりや支え合いがあり、子どもからお年寄りまで集える最高のものだと思います。休日等、町内出身の大学生にも来ていただき、中高生に勉強を忍足、進路相談等もでき、親御さんもありがたいのではと思います。ぜひ具体化を進めてほしいです。 ✓ 「暮らしやすさ No.1 のまち」にするためにはどうしたらいいのか。まだまだ課題がたくさんあると思います。除雪、買い物、移手段など自分が高齢になった時を考えると不安になります。 ✓ 高齢になると除雪が大変になるため、転居する人が多いので、地域支え合い除雪の有償ボランティア制度の確立が短期取り組み。 ✓ 地域の拠点には地区公民館（地区まちづくりセンター）があります。まずは、それを活用した動きをつくることと、上記 5 館のない地区については、空き家活用や、別施設に多様な機能をもってもらうことでの拠点もあると思います。是非、将来、ランニングコストなど継続的な将来負担がかからない、自立した拠点となる必要があります。 ✓ 『移動支援』に関してですが、ほほえみカーがリニューアルして以前より利用

No.	プロジェクト名	意見
		<p>しやすくなったように感じますが、運行日が限られていて不便という声を相変わらず聞きます。人手不足等難しい課題だとは思いますが、運転できない人ややむを得ず免許証を返納された足がない人達にとっては他の交通機関も利用できないので重要な案件では。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 今までの取組は大変素晴らしいと思います。一方で添川、手ノ子小学校統合により地域の拠点が減ることへの対策が必要と思われます。 ✓ 重要だと思います。更なる高齢者支援が必要と感じます。 ✓ 雪の課題であるが、高齢者世帯も大変だが、女性だけの世帯も困っています。自身も今年の雪で、山形市への転居を考えてしまった。 ✓ 地域支え合いを願い、行動・実行に移していくことが何より大切かと思う。 ✓ 健康に生きるための情報周知。特に「色」に関して集いの場で伝達できないか。
16	「日本で最も美しい村」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 伝統文化の継承はどんどん自然消滅しています。農を基本とした文化が無くなれば美しい村もなくなります。 ✓ 町内各地に点在する飯豊遺産や伝統文化を啓発するために、屋敷林の保全や景観形成に取り組んでいると思います。「方向性の検討」にある、屋敷林の価値観についての町内意識の造成については、長井市が毎年5,6月に行なっている「熊野山夜明けトレッキング」が参考になるでしょう。水鏡のような水田の美しさを、たとえばホトケ山から、ゆり園の裏山から眺めるなど、ビュースポットの選定とツアー造成を行い、話題作りも可能かもしれないと思いました。 ✓ 「ワークショップ」の目標のみ未到達であるが「取組団体」や「アーカイブ」は既に達成。中間年以降の数値目標の指標に期待。 ✓ 景観条例制定に向けた動きが出ていることやモデル事業へ取り組む団体が毎年多いことは評価したい。 ✓ 美しい村を維持していくことは大変だけれども、一番重要な事だと思う。町内の景観、ビューポイントを整備し、町外の方にもたくさん見ていただきたい。 ✓ 長期的に取り組む項目。 ✓ 景観についてや、里山文化も含めた地域資源について、率直に意見交換する機会を、単独ではなく他分野の場面で聞くことで、多くの声を拾うことが、まずは大事だと思います。少子高齢化の中で、今、意識して方策を練り上げないと、間に合わないことになるのではないのでしょうか。 ✓ みどりの資源を、多くの知恵や手で保全、活用することで、飯豊ブランドが形成され、そこでつくられたものに価値がつくような地域になりたいと思います。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観も含めて文化を継承していく地域の指定や、集落そのものを指定することもあり得ると思います。 ✓ 『日本で最も美しい村』と言われる景色は一つの観光資源で飯豊町が自慢できることなので維持して頂きたい。 ✓ 日本で最も美しい村は外国人観光客にどのように受け入れられているのかが興味があります。世界基準で価値があると認められるのであれば、貴重な資産として保全するためのガイドラインが必要だと思います。 ✓ 屋敷林保全の助成が必要と感じます。 ✓ 成果については長い目で見ていく必要がある。非常に期待している部分がある。 ✓ インスタ等、SNS で町内の美しい景色を多数投稿すると粗品の進呈など、綺麗な写真を多く見れるような取り組みをしてはどうか。 ✓ 田園や屋敷林について世代交代による劣化がこれから増えるのではないかと。整備方法の教育機会の検討が必要。
17	スマートカントリー構想の実現	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱炭素・循環型社会の構築に向けて、再生可能エネルギー設備導入補助金事業やデマンド交通運行事業、次世代モビリティシステム開発補助金等を策定し、一定の効果を挙げていると思いましたが。中津川地区では、デマンド交通に頼っているお年寄りも多いので、次年度地域公共交通計画策定に期待しています。 ✓ 当事業は目標指標に掲げた事項の実績は全くないのであるから「D」とするべきだと思う。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。「ほほえみカー」事業にも多額の予算を使っているのだから、こういった経常業務の継続も目標指標に掲げてもよいのでは。自己評価、内部評価をBとした意識に疑問を感じる。DまたはCと認識し、目標値や目標そのものを変えるべきだと思う。 ✓ ほほえみカー事業や再エネ設備補助など成果を上げているようだが、数値目標の達成につながっていない。電池バレー構想が順調に進んでいけばもっと達成率が高まっていたのかとも思う。 ✓ 高齢ドライバーが安心して自動車運転免許を返納できる環境がまだまだ整っていないと思います。我が家では、ごみを捨てるのも車で捨てに行かないといけなないので、このままの状況では、とても返納することはできません。 ✓ 成果目標 4 年次 0 の要因を検証。 ✓ 構想実現のための人材育成や研究をする場の今後が心配されますが、是非、将来、全国の大学で学び、企業に勤務した方が、飯豊に来たいという、スマートカントリーづくり、企業の創設が進むことを願います。 ✓ 研究者や、ベンチャー企業等が参加したくなる実証実験を進めるため、電

No.	プロジェクト名	意見
		<p>動モビリティ地域競争コンソーシアムのアクションの拡充を願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 災害レジリエンス強化のために必要なので公共施設への再エネ設備を早急に導入するよう進めて頂きたい。 ✓ 飯豊町にとって次世代モビリティシステム開発はあまりにも負担が大きいのではないのでしょうか。 ✓ 今後に期待します。 ✓ デジタル化が進むことは時間や経費の削減・人件費の削減にもつながることなので、計画に従い進めていただきたい。 ✓ 庁舎内で紙媒体を何年後に何パーセントまで減らすというような目標を設定してはどうか。 ✓ 高齢者が多い中で住民にどのように浸透させるかは難しそうである。実際に高齢の家族を見ていると現実的には課題が多いと感じている。 ✓ 若い世代は、紙ベースの申請や手続きが減る方がありがたい。
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル化の危険について町民に説明が必要。くわしい職員を専門職として採用する必要がある。 ✓ 行政システムのスマート化のみならず、地域住民もデジタル化の恩恵に預かれるようスマホ教室等行なっている点が評価できると思います。 ✓ 指標 3 つのうち 1 つが目標達成。今年以降は、法律で義務付けられる「マイナンバーカード」の普及率を目標とすることが相応しいのか。中間年以降の数値目標の指標に期待。 ✓ 町公式 LINE や「やまがた e 申請」の活用、マイナカードの普及率の向上など着実に成果が上がっている。 ✓ 移住してきて、ケーブルテレビがないことに驚きました。インターネットと接続も可能なので、後方飯豊もテレビの画面で見ることができないのでしょうか。高齢者にパソコンを教えるのは大変ですが、テレビのリモコンだったら操作は簡単です。 ✓ R5、R6 予算を活用して整備したものの R7 事業に期待する。 ✓ 時は進み、パソコン・スマートフォンを活用する世代や割合は高くなっています。今こそ、全世帯に普及するための時期ではないのでしょうか。そのうえで、まずは、情報の受発信はデジタルで行うという転換期だと思います。 ✓ スマートフォンの使い方は、町内のみんなの力を借りて、教えあって進めていく、そこで、世代間交流も行う、健康確認にもつながるような地域活動につなげていければと思います。 ✓ 災害がいつ起こるかかわからない状況の中で、集落の孤立が懸念されます。全国で実践しているように、ドローンで物を調達するような仕掛けを試験的に行ってみる必要があるのではないのでしょうか。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町民や飯豊町に関心のある人への情報受発信のためのアプリと共に、町民の地域貢献や参加によるポイントを地域通貨として町内や連携友好有効、高円寺純情商店街で使用できるし、将来の除雪補助や移動援助などに使用できるような仕組みとアプリの創設を検討してほしい。 ✓ 医療機関でマイナンバーカードを保険証として使用するところが増え益々マイナンバーカードが身近になってきました。その分安全性が問われるので、特に高齢者を対象にオンライン申請の活用方法も含めて教える機会があればと思う。 ✓ 一般論として町内の DX を進めることは町役場が率先することが効果的だと思いますがいかがでしょうか？ 他市町村では入札システムなど進んでいるようです。 ✓ 当会議もデジタル日を作ってもいいかも（ZOOM）。 ✓ まず、職員が簡単に伝えられる内容である必要があると思う。
19	<p>こだわりの産業を創る商 工業基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在以上に発信し、日本中、世界中を市場にできるものを開発できるような支援が必要。 ✓ 町内の企業の活性化と人材支援のための補助金の策定や、飲食店利用促進支援事業策などを手厚く行なっている点が評価できると思います。また企業の経営をソフト面から支える施策についても、期待したい所です。 ✓ 既に一昨年度に目標値を達成していた。その点では「A」。ある意味、容易に達成できる目標(指標項目、数値)を設定したことを踏まえて中間年以降の数値目標の指標に期待。 ✓ 数値目標を2項目とも達成していることはすばらしい。今後も、中小企業や個人事業主への支援に力を入れながらプロジェクトを進めてほしい。 ✓ 意見の中にありましたが、町内の飲食店の多くが将来的に無くなってしまいう可能性を感じています。飲食店がなくなれば外から来る人も減る…。対策していかなければいけないと思います。 ✓ 方向性見直し検討や現状把握もできているので、R7 事業に期待したい。 ✓ 単独事業者や同業者だけでなく、農業、林業も含めた意見交換の場の設定が必要と感じます。その際、(株)デンソー山形で愛知県より来られている方、杉並区の高円寺純情商店街の関係者の方にも参加いただき、率直な意見と情報提供がいただければと思います。 ✓ 何にこだわるのかを、しっかり共通認識をもって産業につなげる意思をつくり、継続していく方向が決めていけるかが大事でしょうか。 ✓ ほほえみカー利用券の存在を知らない人が意外に多い。せっかくのお得な事業なのに周知されていないのは残念。

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他所の人が飯豊で創業、二次創業できるつながりを作るための取組に期待しています。
20	バイオマス産業都市構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゼロカーボンを含め、森林開発を進める必要があると思います。 ✓ バイオガス発電事業と木質バイオマス資源を二本柱にした取り組みに尽力されていると思います。ただ素人かつ解決策の提示もできないので大変恐縮ですが、しらす荘に導入したチップボイラーについて、導入前との燃料費比較が困難また一部燃料は近隣市町から調達という2点、事前にそこまで見越しての導入することは難しかったのかという疑問が残りました。今後はより効率の良い方法を模索できることを期待しています。 ✓ 必要な事業だと思うが、当事業は目標指標に掲げた事項の実績では「D」とするべきだと思う。数値目標の指標をもう少し身近なものに変えてはかがか。 ✓ 評価シートを読んでも課題が山積で大変さが伺えます。林業の人材不足は深刻な悩みであり、人材がいなければ全てが前に進まないと思うので、まずはこの部分のクリアが必要不可欠だと思います。 ✓ 飯豊町の森林資源の整備は現状どうなっているのか？森林火災が心配です。 ✓ 昔は山から燃料を調達して暮らしを営んできました。そのため、山の多くははげ山の状態でした。しかし、現在は全部はほぼ緑色で、バイオマス資源がいっぱい状態です。しかし、山林の管理はされず、除伐、間伐などは計画通りなされているのでしょうか。ぜひ、川上、川中、川下でのカスケード利用を実践していただき、森林活用を進めていただきたいと思います。 ✓ 飯豊町には森林資源が豊富なので、それを利用してサステナブルな事業ができるようまず担い手不足解消から早急に進めてもらった方が良いのでは。 ✓ 森林資源をエネルギーに変えることは本当に難しいことだと思います。メリットデメリット、コストの妥当性など本質的な見極めもまた難しいと認識しました。 ✓ 面積の大変を占める森林資源をもっと有効に活用する施策はできないのか。 ✓ KPI に対する具体的な達成イメージができなかった。目標値が高すぎたか。活動の範囲が広いので、プロジェクトを絞るか増やすか検討しては。